

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立東山東小学校	山下 真二
学校所在地		
〒 640 - 0303 和歌山県和歌山市山東中52-1 tel 073 (478)0052 fax 073 (478)2252		
担当者名	役職名・担当教科	
三谷 崇浩	教諭 ・ 5年	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>和歌山市の東南に位置する。東は紀の川市貴志川に接し、南は海南市に接している。地勢は、東西南北に山があり、盆地の様な形状をしている。また、山の斜面を利用して、みかんを初めとする果樹園や竹の子栽培のための竹林が広がり、平地は、水田が広がる田園風景がある。その一方、幹線道路沿いには、新興住宅が建ち並ぶ。</p> <p>歴史的遺産には、西に熊野古道、伊太祁曽神社があり、中央部には足守神社がある。小学校は、児童数178名の小規模校である。子どもの多くは、2世代～3世代が同居する大家族である。子ども達が多くの人とコミュニケーションを取ることができるよう、異世代（地域の幼稚園、老人ホーム）との交流や外国語教育を通してコミュニケーション力を高められるようにしている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5年生 28名	3名 職員 3名	東山東小学校・高野町
実践研究テーマ		
世界遺産・紀伊山地の霊場と参詣道の学習から郷土愛の育成を図る		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	東山東小学校区には魅力がいっぱい！！	
〔キーワード〕 熊野古道 ・ 紀伊山地の霊場と参詣道		
〔単元目標〕		
①地域の魅力を発見しよう ②和歌山電鐵PR隊 ③世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 ④伝えよう 世界遺産新聞		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 20 時間 （ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 10 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門 現地学習 ・和歌山県世界遺産マスター …… 現地学習 		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	地域にある魅力的な施設や場所について調べる。	地域を振り返りながらたくさんの施設や場所を発表できるようにする。	・行動観察 ・誌面点検
2	和歌山電鉄PR隊となり、和歌山電鉄の事を調べ、伝える。	和歌山電鉄や地域人材から話を聞いたり、インターネットで調べたりするなどして、地域にある施設や場所などについての知識が増えるようにする	・行動観察 ・誌面点検
3	・高野町や「紀伊山地の霊場と参詣道」を知る。	・高野町や「紀伊山地の霊場と参詣道」に関するビデオを視聴し、教師が作成したクイズを解くことで理解を深められるようにする。	・行動観察 ・誌面点検
4	・世界遺産を感じよう。 ・世界遺産を保全しよう。	・世界遺産について話を聞いたり、見学したりすることを通して、郷土を愛する気持ちを深めたい。 ・世界遺産を保全し、守り伝え続けることの重要性を学ぶ。	・行動観察
5	・学んだことを広めよう。	・学んだことを新聞に書き表し、他学年や地域の人に伝えることで理解を深められるようにする。 ・友達の作品を見て、気付かなかったことに気付けるようにする。	・行動観察 ・誌面点検
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>・地域学習の中で、様々な施設や場所がある事を考えていく中で地域を通っている熊野古道が世界遺産に含まれていることを知り、子ども達の興味の世界遺産に繋がった。また、高野町で実際に自分の目を通して学んだことは深く心に残り、『紀伊山地の霊場と参詣道』がより身近な存在に感じる様になったと思われる。また、道普請を行う事で保全活動の大切さとそれを担っていくべきであるという考えが子ども達の中に芽生えていったように思う。今後、高野町が生まれた当時の事やそれらが守り通してきた人々のことを学び、より保全活動の重要性を感じ取っていくであろうと思う。しかし、現地との距離的な課題もあり、子ども達が持続してその思いを持ち続けられるかが課題となっていると感じている。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>・高野町を紹介したビデオ視聴だけでは、高野町で日々行われている出来事や高野町ができた事柄について子ども達は実感がわいていなかった。けれど、高野町に行き、実際に空気を肌で感じ、目で見て、話を聞くことで実感のわかなかった様々な事を理解していくことができていた。子ども達が体験を通して活動することの効果の大きさと必要性を感じた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>・歴史学習は6年生社会で扱う内容である。そのため、5年生の児童の多くは歴史をほとんどを知らない。また、歴史上の人物や出来事、仏教上の意味を理解していくことは難しい様であった。けれど、世界遺産マスターの話の中に「今はわからなくても、いつかわかるようになる。」という言葉で安心して学習に取り組む事ができていた。来年度また中学校、高校と進んでいく中で、世界遺産学習で学んだことを少しずつ理解していくことができるのではないだろうかと思う。</p>			

様式 2

令和元年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

○現地学習後の児童の感想文より

- ・ビデオを見て高野山の事を知りました。ビデオの中で分からないことや不思議に思っていたことがたくさんありました。それを教えてもらったり、実際に見たりしてすごくわかりました。でも、新しい不思議も見つかったので、また家族で行きたいです。
- ・世界遺産って名前は知っていたけど、三種類もあるなんて知りませんでした。それに、世界遺産に認定されるために必要なことや取り消し、危機遺産になることなど世界遺産講座で教えてもらってわかりました。
- ・私は家族で御朱印を集めているから、たくさんのお寺を見て回れたことがとっても嬉しいです。もう一度家族で行きます。
- ・今回は奥の院の方には行かなかったけど、僕は戦国武将が好きだから戦国武将のお墓を見つけに行きたいです。明智光秀さんのお墓を見たいです。
- ・冬休みに家族で高野山に行きたいと思います。その時は、私が教えてもらったことをお母さんやお父さんに伝えて一緒にお参りに行きたいです。三鈿の松も拾いに行きたいです。
- ・昔の人はクレーン車とかもないのに高野山みたいな高いところに壇上伽藍みたいな大きくて迫力のある建物を建てたのは本当にすごいと思いました。でも、どうやって木を運んだり、組み立てたりしたのかわかりません。自分で調べて考えたいです。
- ・お寺の中に神社があるのは見たことがありませんでした。とっても不思議に思いました。日本のどこかには他にもお寺の中に神社があったり、神社の中にお寺があったりするところはあるのかな。
- ・一生懸命頑張って道普請をしました。どの仕事も大変だったけど役割にわかれて作業することで自分で直すことができました。道普請をしてなんだか不思議な気持ちになりました。
- ・道普請で直した場所はあんなに短かったのにとってもしんどかったです。頑張ったので帰りのバスで手に力が入りませんでした。



○現地学習後の児童が作成した新聞

三鈿の松と世界遺産

12/13

世界遺産のすごさ

地球上の世界遺産

重宝な世界遺産

松の葉が何本ある？

歴史がまた高野山新聞

金剛峯寺は建設中

行つた感想(高野山)

世界遺産講座

空海が投げた三鈿の松

人が残した

紀伊山地の霊場と参詣道

地球上に広がる世界遺産

遺産種別